

続ビジネスリーダーに聞く ①

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、ウクライナ侵攻、世界的な物価上昇、デジタル化の加速的な進展、脱炭素化の世界的な潮流など、予測困難な経営環境下で、企業はどうか対応していくべきか。日本生産性本部の「次世代経営幹部育成プログラム(CLP)」を受講した企業の経営者や経営幹部に、激変する時代におけるリーダーの役割などを聞いた。

八洲電機代表取締役社長兼COO

清宮 茂樹氏

清宮氏は1993年に同社に入社。執行役員として、P L C (プログラム部長、上席執行役員事業・ロジック・コントローラー、制御装置) システム、ドライブシステムを柱とした電機制御システムを構築し、

殊空調まで幅広く提供している。



事業ポートフォリオの変革を推進

八洲電機は、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の三つのコア技術において、プレエ

という質問を受けたのがキャリアの転機になったという。

「当時は日立製作所として様々な施策を打って非常に役立っていた。作成的過程ではC O O』は6年連続認定されている。5年連続で認定されている「健康経営」は、健康経営の推進、人材プールをつくることにも取り組んでい

非常に発電設備等で電気の安定供給と省エネに4年間在籍し、債権管理なども含めて経理業務マンとしてお客様の懐に入って」とい

「2022年度、私からアドバイスをした事評価制度の見直しを推し進め、生産性を向上させて、持続的に収益を上げることが今後の課題であり、抱負でもある」と述べた。

電機制御システムでは、鉄鋼・エネルギー・ガス・化学等のフ

「4月の社員向けの方針説明会の際に『皆さんを必ず幸せにします』と言った。それを表現するには、持続的に収益を上げていく必要がある。収益を上げ続けることによって、社員の昇給・昇格や、各ステークホルダーへの分配、様々な投資などが実現できる。持続的に収益を上げることが社員の幸せにつながる」と強調する。

八洲ブランド ～ 3コア技術～

電機制御システム 最先端の技術で生産性向上に貢献する	電源システム 電気の安定供給・省エネに貢献する	空調システム クリーンで快適な環境をお届けする
--	---------------------------------------	---------------------------------------

つエンジニアリング会社、事業ポートフォリオを変革することだ」と言われてきたことも特に印象に残っている。私も今、当社の事業ポートフォリオをどう変えていくかを経営陣と議論して受講した。「経営戦略」(自身が社長に就任した場合に打ち出す経営戦略)の発表では「創立100周年に向けた長期ビジョン」(同社は今年で創立77周年)をテーマに取り上げた。

「CLPで、長期ビジョン経営を掲げ、社員のエンゲージメントを高めることにも力を入れており、社員の処遇の改善や評価制度の見直し、健康経営の推進、人材プールをつくることにも取り組んでい